

2020年度 IR Day における質疑応答
(研究開発力のさらなる向上とスピードへの挑戦)

日 時： 2020年 9月14日（月） 12:40～13:10
場 所： NEC本社ビル B1F（多目的ホール）
説明者： 取締役 執行役員常務 兼 CTO 西原 基夫

質問者 A

Q 研究開発と企業価値との繋がりについてお伺いします。基本的には、研究開発が各セグメントの競争優位性となり、収益として計上されることで企業価値に繋がると認識しています。一方、エコシステム型R&Dやインキュベーション事業は、研究開発により直接的に企業価値を押し上げるアプローチと理解しました。事業価値という指標の測り方は珍しいと思いますが、その意味合いと具体的な方法をご説明いただけますか。また、IPOやカーブアウトなどにより事業価値を高めていく今後の戦略を教えてくださいいただけますでしょうか？

A 事業価値を評価指標とした取り組みはビジネスイノベーションユニットと研究開発ユニットが連携して進めています。R&Dのエコシステム、つまり外部と連携する場合には、ベンチャーやキャピタリストといったファンドや人材など、外部のものを利用する形となります。新たな事業を立ち上げる際は、事業価値を念頭に置き良い人材や資金を集めていかなければエコシステムとして成り立ちません。そのため事業価値を新たな概念として導入しています。dotDataや、現在進めている他の案件に関しても事業価値の概念を導入しています。

Q dotDataは大型の資金調達も行い持分法適用会社化して、NECの手を離れたということでしょうか？

A dotDataは独立して事業展開しています。ただ、dotDataの技術を国内で活用できる権限はNECにあります。50社超の有償サービスのうちのいくつかは、NECと重要な関係のお客様も含まれています。

新しい取り組みとして先週立ち上げたバードイニシアチブですが、2025年までに新たなカーブアウトを6件立ち上げることを明言しており、そのうちのいくつかは実現できるだろうと思っていますので、今後も強化し推進していきます。

以 上